

データ工学と情報マネジメント論文特集の発行にあたって



データ工学と情報マネジメント論文特集編集委員会

委員長 小口 正人

データベース技術に代表されるデータ工学分野では、昨今のデータベースの応用領域の拡大や、膨大かつ多様なデータの出現を受け、活発な研究活動が行われている。電子情報通信学会データ工学研究専門委員会が共催しているデータ工学と情報マネジメントに関するフォーラム（DEIMフォーラム）では、幅広くデータ工学並びに情報マネジメント分野を対象として、先進的な研究成果に対する発表と活発な議論を行ってきた。これを踏まえ、情報・システムソサイエティと文論文誌にて新たに「データ工学と情報マネジメント論文特集」を企画した。これは前年度までのデータ工学特集が拡張する方向に発展したものである。

採録された4編の論文にも、この特集の幅の広がりが見られている。1本目は集約されたバスケットに対して、相関分析技術の適用を検討したデータマイニング分野の論文である。2本目は階層型URL辞書を利用し、LDAによってWeb閲覧行動のモデル化を行ったWeb情報分野の論文である。3本目は、大規模映像データベースにおける人物の表情表出シーン検出手法の提案と評価を行った映像情報分野の論文である。そして4本目は、個人が所有するビデオコンテンツを個人宅内のIPストレージに保管したままネットワーク上で公開するストレージ分散型のVODシステムを提案したス

トレージシステム分野の論文である。なお4本目はシステム開発論文となっている。

本特集を編集するにあたり、厳しいスケジュールにもかかわらず丁寧な査読をして頂いた査読委員の方々と編集作業に携わって頂いた編集委員の方々に厚く御礼を申し上げる。特に編集幹事の京都工芸繊維大学宝珍輝尚先生、首都大学東京片山薫先生、筑波大学鈴木伸崇先生には、編集作業全般にわたり多大な御尽力を頂いた。更に学会出版事務局の高木久恵様にも大変お世話になった。この場をお借りして、皆様に心より御礼申し上げます。

最後に、本特集やDEIMフォーラムをはじめとして、データ工学と情報マネジメント分野の研究活動が今後ますます発展していくことを強く願っている。

小口 正人（正員） 平2慶大・理工・電気卒。平7東大大学院工学系研究科電子工学専攻博士課程了。博士（工学）。学術情報センター中核的研究機関研究員、東大生産技術研究所特別研究員、中央大学研究開発機構助教授、お茶の水女子大学理学部情報科学科助教授を経て、平18より同教授。ネットワークコンピューティング・ミドルウェアに関する研究に従事。DEIM2011プログラム委員長。IEEE、ACM、情報処理学会、日本データベース学会各会員。

データ工学と情報マネジメント論文特集編集委員会

委員長	小口 正人
幹事	片山 薫・宝珍輝尚・鈴木伸崇
委員	天笠 俊之・有次正義・池田哲夫・石川佳治
	市川 哲彦・大森匡・鬼塚 真・國島丈生
	新谷 隆彦・鈴木優・中島伸介・波多野賢治
	原 隆浩・宮崎 純